



養護老人ホーム市立寿光園（寿7丁目）

昔 昭和48年



今



寿光園は昭和32年に「市立養老院」という名称で寿7丁目に開設されました。その後、昭和38年の老人福祉法制定によって「養護老人ホーム寿光園」に改称し、昭和53年には笠之原町に新築移転。平成22年に民間法人での運営が開始されました。当初建設された場所は現在寿公園となっており、周辺住民に親しまれています。



昔、鹿屋で起きた出来事にクローズアップ！

カノヤタイムトラベル

鳴之尾林道と鳴之尾牧場

鳴之尾牧場が完成する以前、有武町一帯の森林・観光資源の活用のために鳴之尾林道が整備されました。この林道の総延長は有武町柘野から高隈山の中腹、テレビ塔下までの約5,500m。昭和39年から41年にかけて工事が実施されました。

工事には国分の陸上自衛隊が協力。40人の隊員が、ブルドーザー4台を含めた車両9台等を使用して工事を進め、隊員は現地に設けた宿泊施設に泊まり込み、作業にあたりました。林道用地は岩石が多く、爆破が主な作業という難工事

で、期限内に工事を完了できたのは朝から夜まで作業を行った隊員あつてのことでした。また、経



昭和41年の鳴之尾牧場（上部）と鳴之尾林道（下部）

費の面でも自衛隊の協力により通常の工事の3分の1ほどに抑えられたといえます。

林道と並行し、市営牧場として整備が進められた鳴之尾牧場で放牧が開始されたのは昭和41年。高地での作業は資材の運搬や連絡等に苦慮しました。20haを造成した初年度の飼育頭数は74頭でしたが、現在は約70haの面積になり、最大120頭を飼育しています。

テレビ塔下の御岳登山口から鳴之尾牧場付近までを結ぶ林道は50年以上経った今も人々に活用され、鳴之尾牧場は優れた乳用牛の育成に貢献し続けています。



現在の鳴之尾林道。林道の入り口には石碑が建っています。